

令和3年度北方領土オンラインゼミナール結果概要

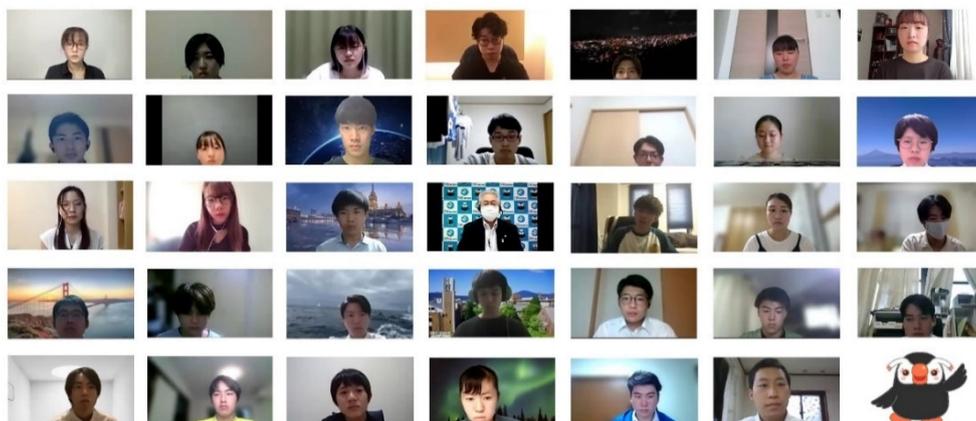
9月7日から9日までの日程で、全国の大学生33名を対象にオンライン会議システムを利用して、元島民（得能宏さん）と繋ぎ体験談の講話や、返還要求運動などについてディスカッションを行う北方領土オンラインゼミナールを行いました。

大学生の中には、元島民の望郷への切実な思いをコロナ禍で故郷へ帰れない自らの思いと重ね合わせる学生もあり、グループディスカッションでは、「ただ問題を知るだけの当事者意識ではなく問題を解決するための当事者意識を持って関心を持ち続けることが大切である」との意見などが出されました。

得能さんは大学生に対して、「一人ひとりの行動が『点』となり、多くの人に関わることで『線』となり、やがて『面』となって、日本全体の問題として世論を押し上げる大きな力になる」とのメッセージを送りました。



得能さんの講話



全国から参加した大学生